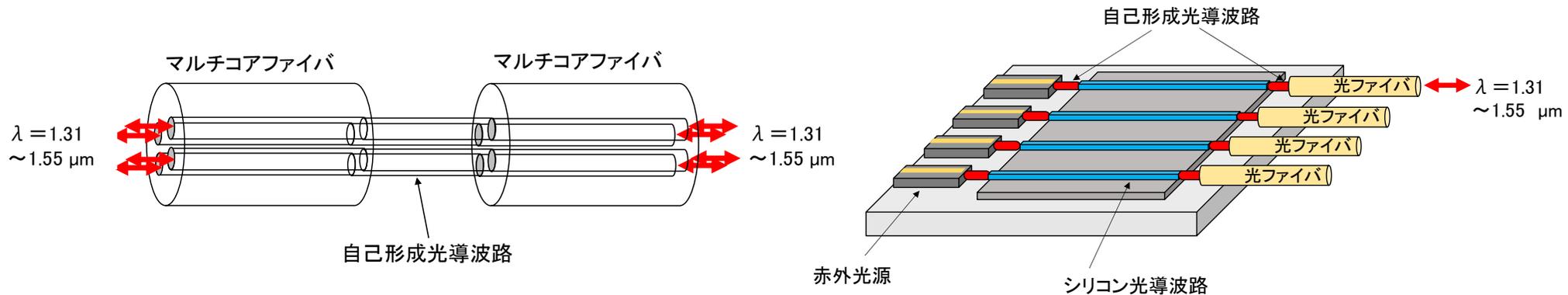


マルチチャネル自動接続を実現する 赤外自己形成光接続の研究開発

研究概要：本研究開発では、マルチチャネル導波路コア間の一括自動接続について、自己形成光導波路材料・作製技術を開発し、一括自動接続の基盤技術を確立する。マルチコアファイバ間、シリコン導波路－ファイバアレイ間、シリコン導波路－マルチコアファイバ間の接続実証実験を行い、高スループット・高トランス・低接続損失の特長を活かすことで、Beyond 5G社会での展開を目指す。本研究開発技術を普及させることにより、次世代超低消費電力の光ネットワーク構築に貢献する。



【契約期間】 令和3年度～令和4年度（ステージゲート評価予定） **【契約総額】** 約0.7億円

【受託者】 国立大学法人宇都宮大学（代表研究者）、アダマンド並木精密宝石株式会社